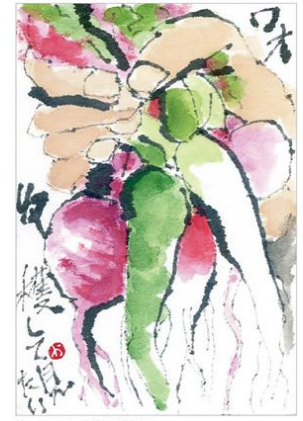




瓜ヶ平美津子(兵庫)



渡辺しげ子(千葉)
友人の畑のにんにくです。



井手勝子(北海道)



乾野規子(73歳・福岡)
長い人生を振り返っての実感です。



朝岡富士子(89歳・埼玉)
ペランダの50年になる古株のサボテンに見事な花が。



橋目布治子(福岡)
直径25cmほどの大輪が一斉に開き、仏様もさぞ驚いているでしょう。

もくじ

巻頭 ことばの旅 01
古拙微笑 04
山田喜代春の詩画世界 05
〈新連載〉ずっとだれかのそばにいた みちのくの民間仏 08
芹沢銈介の愛した手仕事 12
特集 絵手紙と手仕事 28
登坂和雄の一語一絵〈命〉 30
柳宗悦の眼に学ぶ 白土慎太郎 34
手紙のヒント 中川越 32
自分の道歩く——相田みつをの言葉 36
読者投稿ひろば 34
テーマ「私の顔」 36
自由絵手紙「みちのく」といいたい仏たちに寄せて／なんでも100字／活動報告 54
木もれ日「なに、浮気してんだよ！」 宇貝千代子 54
essay アーサー・ビナード 56
誌上レッスン 絵手紙教室 58
◎小池邦夫からの絵手紙

◎小池邦夫の絵手紙教室
小池邦夫から息子へ
◎兼岩幸恵の小さくても一歩
「ビックリマークって必要ですか」
◎阿部祥子のどんどん動いて
どんどんかいてどんどん字ほう
「巻紙をかこご」
2025年版 週めぐりカレンダー

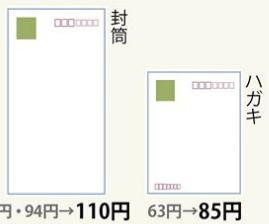
受講生募集中

- 88 ご注文方法
- 87 『月刊絵手紙』定期購読のご案内
- 86 「絵手紙友の会」からのお知らせ／編集後記
- 85 日本絵手紙協会へのアクセス
- 84 ボランティア部からのお知らせ
- 82 日本絵手紙協会・推薦教材
- 80 栄村国際絵手紙タイムカプセル館だより
- 78 小池邦夫絵手紙美術館ニュース
- 76 投稿の募集要項
- 74 あなたの街の絵手紙情報〈展・体験〉
- 73 送料改訂のお知らせ
- 72 展覧会のご案内
- 70 講座のご案内
- 55 絵手紙通信講座のご案内
- 55 講座のご案内

次号予告 下町散歩

10月1日から郵便料金が変わります

ハガキ料金は85円に、定型郵便は110円になります。その他定形外郵便等も変更がありますので、新料金を必ずご確認ください。また、郵便料金値上げに伴い、『月刊絵手紙』と書籍の送料も変わります(詳細73頁)。なお、定期購読料の変更はありません。



〈表紙の絵手紙〉 右上: 川崎裕美(奈良) 左上: 室 美和子(京都) 右下: 和田百合子(石川) 左下: 渡部玲子(岡山)
〈裏表紙の筆文字と土版画〉 小池邦夫

相手を思う、心をこめる

絵手紙と手仕事

「手紙は手仕事 心仕事」と小池邦夫は言いました。

これは、「筆^{ひつ}」ごとに相手への思いや自分の思いが

紙に刻まれていく実感から生まれたのではないのでしょうか。

人が何かを、誰かを「思う力」は大きいものです。

それが大切な人であればなおさら。

そして思うことと同じくらい、思われることも

また大きな力となります。絵手紙で心の交流を続ける皆さまの、

あたたかい手仕事をご紹介します。



読者投稿

かいて、送って、
みんなでおしゃべり

ひろば

テーマ「私の顔」
ポストに届いたら思わずニッコリ。みんなの顔が大集合！
自由絵手紙／「みちのく いとしい仏たち」に寄せて／
なんでも100字／活動報告



三ツ井玉江(千葉)
見た目で判断しないでと願いつつ……。



山本千代(東京)
いつもオカメちゃんとセットになって暮らしています。



合田いづみ(兵庫)
白雪姫の継母のように、毎日チェック。



白石千恵子(83歳・三重)



斎藤文女(79歳・愛知)
鏡の中に老女がいる。生きることは芸術のようです。



石田博子(79歳・鳥取)
実母の顔、私もよく似てきました。



谷口光代(74歳・栃木)
老人施設や保育園で、イベントでは30人くらいで踊っています。

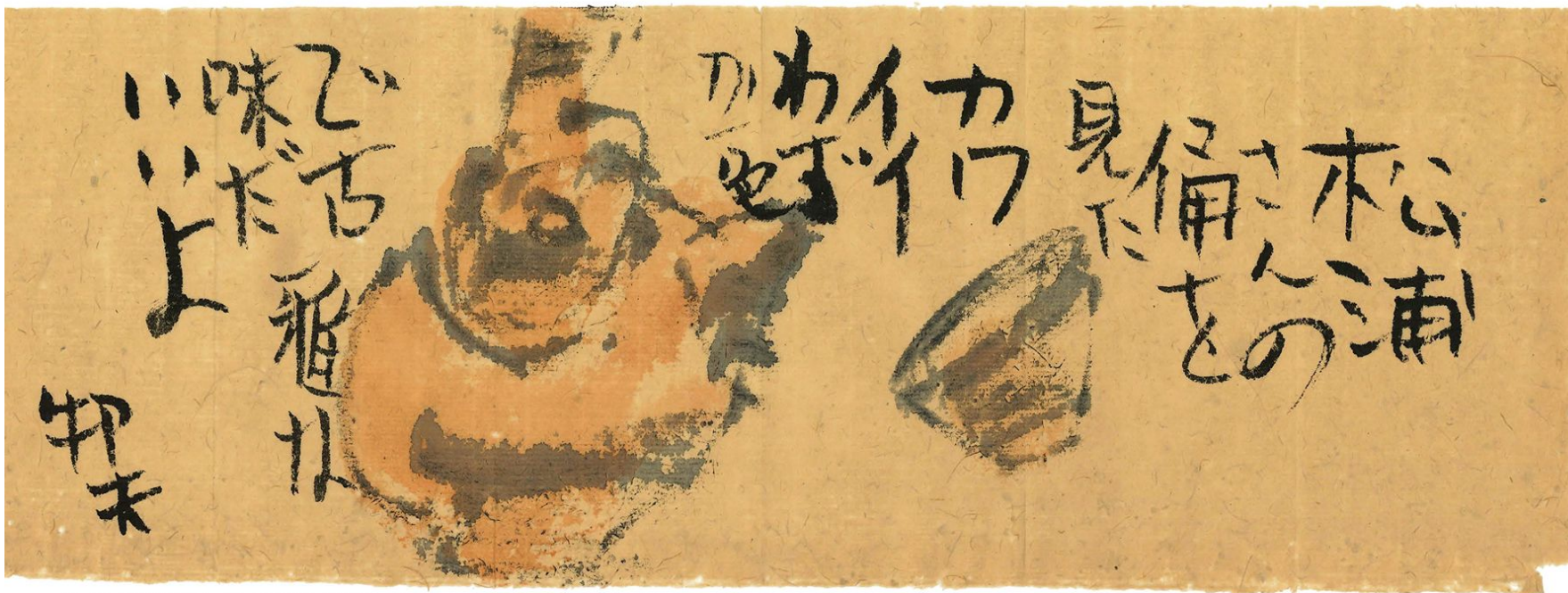
初心から学ぶ『ヘタでいいヘタがいい』 絵手紙教室

月刊誌を使って
好きな時に好きな場所で
学んでいきましょう

小池先生と私、思い出の1枚

小池邦夫からの絵手紙 #2

この8月に一周忌を迎えた小池邦夫。全国各地で絵手紙の種を蒔き続けてきた小池との交流の思い出を、読者投稿より全12回の予定でお届けします。



小池邦夫が松浦栄枝さんへ送った絵手紙。松浦さんの絵手紙にかかれた備について触れている。



小池夫妻(前列左)と一緒に。実行委員の皆さんと7人の体験発表者。後列左が松浦さん。

念がっていたところ、近くにいらっ
しゃった小池先生がやさしくおつ
しゃいました。「君はこの発表の場が
当たったのだから、これ以上のこと
はないだろう」。私は恥ずかしくて顔
から火が出ました。あの時のことは
忘れることができない思い出です。
小池先生ありがとうございました。

東京国際フォーラムにて
—— 松浦栄枝(神奈川)
2005年6月13日、東京国際
フォーラムホールで日本絵手紙協会
創立記念イベントがあり、そこで「私
と絵手紙」について体験発表のチャン
スをいただきました。5000人の
前で身も震える思いでしたが、たく
さんの時間をかけて準備したことが
思い出されます。
その後抽選会がありました。小池
先生お手製の封筒にかいた絵手紙な
どが賞品でしたが、私は当たらず残

こいけ・くにお
絵手紙の創始者。1941年(昭和16)愛媛県松山市生まれ。19歳より絵手紙をかき始め、「ヘタでいいヘタがいい」
をモットーに絵手紙文化を広める。その活動が評価され、東京都狛江市初の名誉市民に選ばれるほか、文化庁
長官表彰など受賞も多数。2023年8月31日82歳で永眠。